

# 11・4日比谷野音へ!

全学連(斎藤郁真委員長)書記局通信

2012年9月10日  
51

Tel 03-3651-4861  
mail\_cn001@zengakuren.jp  
http://www.zengakuren.jp/

## 全学連大会大成功!



## 100名結集でうち抜く!

9月5～6日、東京にて全学連第73回定期全国大会が、法政大をはじめとした首都圏大学、東北大、福島大、富山大、京都大、岡山大、広島大、沖縄の大学など全国25大学から100名を結集してうち抜かれた。

来賓挨拶として、三里塚芝山連合空港反対同盟の北原事務局長(写真)から、「三里塚闘争では多くの血が流された。それは真実を問う闘争としてあるからです。それを君たちが学ぶということは、絶対に必要です。社会がどう動いているかということを勉強しないと、未来も見えてこない。そんな時代に入ってしまった」「この2日間は、未来をつくるために自分が



動かなかつたら何も動かないんだということを考えていただきたい」「三里塚は必ず勝つ。真実の一つしかない。その真実をしっかりとつかんで、これからの人生を送ってほしい。三里塚闘争はそのためにあるんだ!」と熱烈な檄を飛ばしていただいた。

大会では、全原発廃炉!「フクシマの怒り」と連帯し、100万の反原発大行動を!、京大同学会再建の闘いに続き全国大学で自治会建設を!、処分阻止 - 全処分撤回

の10・19法大デモ - 首相官邸前行動へ!、新自由主義をうち破ろう! 11・4労働者集会へ結集を!

300万学生は団結し全学連運動の大爆発を! というスローガンを全体で一致した。そして、2日間にわたる白熱的な討論を経て、法大 - 京大 - 福島大を先頭にした全国キャンパスで反原発闘争を巻き起こし、学生自治会建設へ挑戦することを固く誓った。

全国の学生のみなさん! 全学連大会の大成功から9～11月の大決戦へ進撃しよう!!

### 10・19法大包囲デモ

10月19日(金) 12:40

法政大学市ヶ谷キャンパス正門前集合



オスプレイ配備反対の沖縄県民大会が、炎天下に10万1000人の大結集でうち抜かれました！ 開始時間の11時を過ぎても会場入りの波があり、実際にはもっと多かったです。用意したビラ1000枚が瞬く間に参加者に吸い込まれていきました。

会場では、赤いシャツやリボンで思い思いのオスプレイへの怒りを表明します。労組の旗や「普天間第二小」などののぼり旗。大学では、沖国大・照屋ゼミ、沖縄大学の旗を見ました。沖縄大学は、大学のマイクロバスで駆けつけました！

大会では沖国大生が、「今日ここで自分の確信が深まった。迷いなく、沖縄の空にオスプレイはいらないと言いたい。オスプレイが空を飛ばない、基地のない未来をつくるために若い世代が声をあげたい」と発言し、ひときわ大きな拍手を浴びました。一方、参加しなかった仲井真知事のメッセージが紹介されると、「出てこい！」などとヤジがとぶ一幕も。

大会最後に「沖縄県民はこれ以上の基地負担を断固として拒

否する。県民の声を政府が無視するのであれば、我々は基地反対の県民の総意をまとめ上げていく」「オスプレイ配備計画を直ちに撤回し、同時に米軍普天間基地を閉鎖・撤去するよう強く要求する」という断固たる大会決議を拍手で採択。さらに今後の方針として、県民大会出発点に今後も各地域で運動を強めること、金曜日など曜日を決めた普天間基地ゲートへの毎週抗議行動、署名など大衆運動展開、全国行動化が提起され、団結ガンバローで闘いの決意がうち固められました。

オスプレイ問題が沖縄基地支配＝安保体制との非和的対決になりつつあり、若い世代が沖縄の闘いに自信と誇りを取り戻し、「基地はなくせる」と立ち上がり始めています

この闘いは、全国の闘い、そして「フクシマの怒り」を先頭とした反原発闘争と一体化していくことは間違いありません。それを象徴する沖縄出身学生(福岡の大学)との出会いもありました。怒りを一つに闘おう!! (沖縄現地行動隊・U)

# 11・4全国労働者総決起集会

— 新自由主義と闘う労働組合の全国ネットワークを! —

2012年11月4日(日)正午～東京・日比谷野外音楽堂 (集会後デモ)



国鉄1047名解雇撤回、JRの検修業務全面外注化阻止!  
非正規職撤廃、闘う労働組合を職場・地域につくりだそう!  
反原発・反失業、野田政権倒せ!

写真は昨年の11・6全国総決起集会(日比谷野外音楽堂)